

## 「あなたも変えられる～無益な者から有益な者に～」

(ピレモンへの手紙 8 ～ 20 節)

姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

聖書) 「彼は以前は、あなたにとって無益な者であったが、今は、あなたにも、わたしにも、有益な者になった。」

(ピレモンへの手紙 1 章 11 節)

今朝は「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った。見よ。すべてのものが新しくなったのである。」とのお言葉によって導かれ、感謝しています。人には三種類の人がいることを示されました。「生まれつきの人」もイエス・キリストを信じる事によって新しく生まれ変わることが出来るのです。生まれ変わった人もまだ「肉の人、普通の人」のように歩いている「幼子」の状態であったとしても、成長して聖霊に満たされることによって「霊の人」に変えられる約束が与えられていることを示され感謝した次第です。

今日の午後は皆様とご一緒に聖書の中で 1 章しかなく、個人的な手紙なのですが、ピレモンへの手紙を通して導かれないと願っております。この手紙は余り目にとまらないかも知れませんが、豊かな恵み溢れる手紙であることを味わいたいと思います。

さて皆さん方は、有りの儘の自分を受け入れておられますか？ 今年も、夢、幻を持って、歩みを始めて後二ヶ月もないこの頃ですが、今日までの歩みを振り返り、理想通り目標に向かって力強く歩んでおられる方もおられることでしょう。しかし、自分を見つめたり、周囲のことが気になって、ふと気がついてみるとこんな筈ではなかったと、自分のふがいなさを身にしみて覚え、自分の存在の惨めさを嘆き、悲しみ、落ち込んでいる方はおられないでしょうか。即ち理想に向かって出発したのに幻滅を感じておられる方はおられないでしょうか。特にご年配の方々にとって自分の存在感を否定したくなる場面に直面する事もおありではないかとお察しします。私も昨年後期高齢者の仲間入りをして自分の衰えをいやと思うほど実感している次第です。

今、読んで頂いた聖書の箇所には「オネシモ」のことが記されています。彼の名前には「役に立つ者、有益な者」との意味があります。親が期待して名付けたことでしょう。しかし、彼は奴隷の身分でありながら、自分の主人であるピレモンに迷惑をかけ、遠いところに逃げてしまったのです。恐らくお金を盗むか、大切な物を持ち逃げしてしまったようであります。しかしそのオネシモが不思議なことにその逃亡した場所にて捕まり、ローマの獄中に入れられ、そこでパウロに出会ったのです。その当時パウロはイエス・キリストのことを述べ伝えることによって捕われの身となっていたのです。オネシモはそのパウロからイエス・キリスト様の十字架の救いの出来事を知らされたのです。その時、オネシモは素直に罪を悔い改め、主イエス様を救い主と信

じたのです。その結果、オネシモは「無益な者、害を与える者」から「有益な者、人に仕える者」に変えられたのです。

ピレモンは、パウロによって回心した人物で(19)、彼の家はコロサイにあったのです(コロサイ 4:2)。ピレモンは家庭を解放して集会を開いたことにより、家の教会としてコロサイの教会が誕生し、ピレモンがその教会の中心人物として奉仕していたのです(2)。

あたかも広畑教会の前身が、小林ひさゑさんがイエス・キリストを信じることによって救われ、ご主人共々に、英賀の地で喫茶店をしておられたご家庭を開放して家庭集会を開かれたことにより救われる人が起こされて、伝道所を開設され、教会を設立されて現在に至っておられると連なることを覚えます。聖書に「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った。見よ。すべてのものが新しくなったのである。」(コリント人への第二の手紙 5 章 17 節) とある通りにです。

教会は、①主人も奴隷も主にある兄弟として交わる(16)ことが出来るのです。また、②パウロはオネシモのことについて、ピレモンに対して真心と愛の籠もった手紙を書いております。即ち、私たちが神様に対してそむきの罪を犯し、負債を負っていたにもかかわらず、その罪のためにイエス・キリスト様が死んで身代わりとなって下さったことにより罪を赦し、救いの御業を完成して下さったのです。それと同様に、パウロは自分がオネシモに変わって負債を支払うという申し出をしているのです(19)。

私たちに対するイエス・キリストの愛と贖いを明らかに示している。よく「名は体を表す」とも言いますが、オネシモは名実共に、神様にもパウロにも、またピレモンにも役に立つ存在と変えられたのです。確かにオネシモは自分に失望し、境遇にも不満を持ち、自暴自棄になっていたことでしょう。しかしイエス・キリスト様に信頼した時に理想の人に変えられたのです。オネシモはパウロの執り成しによって主人であるピレモンの許に戻されたのです。そして、殺されても仕方のないオネシモはピレモンの許にあっての新しい歩みに入れられたのです。

神様はイエス・キリスト様を通して一人ひとりを理想の人に造り変えて下さることが出来るのです。

私は6人兄弟の末っ子として生まれ、貧しい中にも兄弟仲良く育ちましたが、小学校4年生頃に、当時一間しかない部屋で雑魚寝をしておりました。ある夜、私は早く寝たのですが、目が覚めると兄や姉と母が今後の事について色々な話を話しているようでしたが、私の話に及んで「守男は役に立たないのでどうしようもない」と話している言葉を耳にして、私は劣等感を抱くようになりました。また理科の授業の課題として私は1年間、気温・地温・水温を測ってグラフに統計を出した事があります。受け持ちの先生がそれを認めて下さって是非皆の前で発表するように頼まれたのです。

が、いざ発表するために皆の前に出たのですが、時に何も言えずに終わったこともあり、なおさら劣等感に拍車をかける事になりました。その様のような者が高等学校2年生の時に修学旅行の後の無理がたたリ、亜急性腎炎という重い病気を患い、姫路日赤病院に入院しました。その時、初めは何とか自分の力で早く治りたいと思い、絶対安静を保ち療養しましたが、快方に向かわず、ついに神様に降参し、自分の身勝手な罪を悔い改め、イエス・キリスト様を信じて救われたのです。今になっては兄弟たちから信頼される者と変えられている幸いを身に覚え感謝している次第です。

この手紙を書いたパウロもかつてイエス・キリストを信じていた人々に迫害を加えていた人物でしたが、その迫害者サウロを心に留めていて下さるイエス・キリスト様の愛に触れたのです。その時に、彼はイエス・キリストを救い主であると信じたばかりか、主イエス様がキリスト（救い主）であると大胆に宣言することの出来る人に変えられたのです。オネシモも変えられたのです。私たちも主イエス・キリスト様を信じることによって理想の人に変えられるのです。即ち「神様にも人にも役に立つ、有益な存在」として生まれ変わらせて頂けるのです。

是非、本日ここに集って下さった皆様方も天の父なる神様を信じ、主イエス・キリスト様から、十字架に架かり自分の命を捨てるほどに愛されていることを信じ、受け入れ、是非新しい生涯を歩まれ、絶えず祈り、感謝と喜びを持って、充実した生涯を歩んで下さることを願って止みません。皆様方の上に神様の祝福を心からお祈りいたしております。

(広畑教会教会創立記念特別伝道集会説教 2016 年)

## 聖 書

### ◎ ピレモンへの手紙 1～25 節

- 1:1 キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、わたしたちの愛する同労者ピレモン、
- 1:2 姉妹アピヤ、わたしたちの戦友アルキバ、ならびに、あなたの家にある教会へ。
- 1:3 わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。
- 1:4 わたしは、祈の時にあなたをおぼえて、いつもわたしの神に感謝している。
- 1:5 それは、主イエスに対し、また、すべての聖徒に対するあなたの愛と信仰とについて、聞いているからである。
- 1:6 どうか、あなたの信仰の交わりが強められて、わたしたちの間でキリストのためになされているすべての良いことが、知られて来るようになってほしい。
- 1:7 兄弟よ。わたしは、あなたの愛によって多くの喜びと慰めとを与えられた。聖徒たちの心が、あなたによって力づけられたからである。

1:8 こういうわけで、わたしは、キリストにあってあなたのなすべき事を、きわめて率直に指示してもよいと思うが、

1:9 むしろ、愛のゆえにお願いする。すでに老年になり、今またキリスト・イエスの囚人となっているこのパウロが、

1:10 捕われの身で産んだわたしの子供オネシモについて、あなたにお願いする。

1:11 彼は以前は、あなたにとって無益な者であったが、今は、あなたにも、わたしにも、有益な者になった。

1:12 彼をあなたのもとに送り返す。彼はわたしの心である。

1:13 わたしは彼を身近に引きとめておいて、わたしが福音のために捕われている間、あなたに代って仕えてもらいたかったのである。

1:14 しかし、わたしは、あなたの承諾なしには何もしたくない。あなたが強制されて良い行いをするのではなく、自発的にすることを願っている。

1:15 彼がしばらくの間あなたから離れていたのは、あなたが彼をいつまでも留めておくためであったかも知れない。

1:16 しかも、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上のもの、愛する兄弟としてである。とりわけ、わたしにとってそうであるが、ましてあなたにとっては、肉においても、主にあっても、それ以上であろう。

1:17 そこで、もしわたしをあなたの信仰の友と思ってくれるなら、わたし同様に彼を受け入れてほしい。

1:18 もし、彼があなたに何か不都合なことをしたか、あるいは、何か負債があれば、それをわたしの借りにしておいてほしい。

1:19 このパウロが手ずからしるす、わたしがそれを返済する。この際、あなたが、あなた自身をわたしに負っていることについては、何も言うまい。

1:20 兄弟よ。わたしはあなたから、主にあって何か益を得たいものである。わたしの心を、主にあって力づけてもらいたい。

1:21 わたしはあなたの従順を堅く信じて、この手紙を書く。あなたは、確かにわたしが言う以上のことをしてくれるだろう。

1:22 ついでにお願いするが、わたしのために宿を用意しておいてほしい。あなたがたの祈によって、あなたがたの所に行かせてもらえるように望んでいるのだから。

1:23 キリスト・イエスにあって、わたしと共に捕われの身になっているエパfrasから、あなたによろしく。

1:24 わたしの同労者たち、マルコ、アリストアルコ、デマス、ルカからも、よろしく。

1:25 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。